

第9回 ナレッジイノベーションアワード 高校生アイデア部門 応募要項

ナレッジイノベーションアワードは、ナレッジキャピタルから生まれる多彩なアイデアによる「ナレッジイノベーション」の成果を広く社会に発信する取り組みです。

次世代を担うイノベーション人材のアイデアを表彰し、スポットを当て、広く社会に発信することを目的としています。

ナレッジキャピタル参画者による多彩な活動を対象とした「ナレッジキャピタル部門」、中学生・高校生を対象に「未来の仕事」についてアイデアを募る「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」で構成しています。昨年度は、中学生・高校生あわせて7,569のエントリーがありました。

テーマ

未来の“私の”仕事を考える

応募資格

日本国内在住の高校生であること
(国籍は問いません)

応募方法

- [お助けシート「好きを追求したら…」を読む。]
- [HOP:「わたし」と「仕事」について考えてみよう]を記入する。
- [STEP:「現在」と「20年後」を考えてみよう]を記入する。
- [JUMP:「私の」新しい仕事をつくりだそう]を記入する。
- [着地:「新しい仕事を伝えてみよう」]を記入する。
- 記入した応募用紙を事務局へ送付する。

郵送の場合 **本応募用紙を封筒に入れて事務局へ郵送** ※応募用紙は返却いたしません。

送付先 **ナレッジイノベーションアワード事務局** 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル7階 K708 株式会社スーパーフェスティバル内

Eメールの場合 **デジタルデータを送信**

送付先 **kia@kc-i.jp** 応募用紙記入面のスキャンデータ等を左記アドレスへお送りください。

※読める解像度、濃さであることを事前に確認してください。※メールの件名に「高校生アイデア部門応募」とご記入ください。※受信確認後、事務局より受付完了メールを送ります。ご応募いただいた3日以内に返信がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください。※メールサイズは5メガバイト以内でお送りください。※本応募用紙の各項目に書かれた内容を元に選考します。表現は、文章・イラスト・図・表など自由です。※ひとり何点でも応募可能ですが、1点あたり1枚の応募用紙でご応募ください。

賞

GRAND PRIZE	GRAND PRIZE RUNNER-UP	SECOND PRIZE	HONORABLE MENTION
グランプリ: 1名	準グランプリ: 2名	優秀賞: 4名	佳作: 10名
ほしいものチケット (5万円相当)	ほしいものチケット (3万円相当)	図書カード1万円分	図書カード3,000円分

※ほしいものチケットとは、受賞者の「ほしいもの」を運送する未来応援チケットです。

選考基準

- 未来を見すえた具体的なイメージを提示しているか
- 今ある仕事の内容にとらわれない自由な考えか
- 独創的なアイデアを描いているか
- 自分が考える社会の未来像をとらえているか

選考委員

- 選考委員長 **河口 洋一郎** ※50音順
- [東京大学名誉教授 / アーティスト / 一般財団法人デジタルコンテンツ協会会長]
コンピューターグラフィックスの世界大会「シーグラフ」で高く賞賛された世界的CGアーティスト。
- 一色 さゆり [小説家]
「このミステリーがすごい!」大賞を受賞し、美術館で学芸員として勤務しながら、小説家として活動を行う。
- 伊藤 恵理 [東京大学大学院 工学系 研究科 准教授]
「空は一つ」をモットーに、世界の空を駆けながら、空の旅の裏側に広がる航空管制を科学する研究者。
- 遠藤 諭 [株式会社角川アスキー総合研究所 首席研究員]
雑誌編集をはじめとして、ITからサブカルまで評論や執筆活動を行ってきた。
- 塩瀬 隆之 [京都大学総合博物館 准教授 / デザイン学ユニット / 学術研究支援室 参与]
問いのデザイナーとして、「伝わるとは何か」というコミュニケーションの根源的な問いを研究している。
- 村上 憲郎 [村上憲郎事務所 代表 / 元Google日本法人名誉会長]
Google を始めとする外資系企業や 日本企業などで経営に携わって来た。
- 安田 洋祐 [経済学者 / 大阪大学大学院経済学研究科 准教授]
ゲーム理論の観点から現実社会を分析し、様々な制度設計を研究している経済学者。

2022
1/13 [木]

応募
締切

※郵送は当日消印有効。Eメールは1月13日23:59まで受付。

公開パフォーマンス・最終選考会(予定)

2022年3月20日(日)

書類選考を通過した17名の方には、3月20日(日) グランフロント大阪にて開催予定の「ナレッジイノベーションアワード 公開パフォーマンス・最終選考会」にご招待いたします。また、上位入賞者7名には、当日応募内容のプレゼンテーションを行っていただき、各賞を決定いたします。

※書類選考の結果は、ウェブサイトにて2022年2月下旬に発表いたします。

応募規定

●応募者は、応募の時点で本応募規定に同意するものとします。●応募作品につきましては、返却いたしませんので予めご了承ください。(応募時に各自コピーを保存されることをお勧めします。)●応募作品は、未発表のオリジナル作品のみとさせていただきます。●応募作品の取り扱い、管理には十分注意いたしますが、不測の事故による損傷については責任を負いかねます。●第三者の権利を侵害している作品は、選考対象外となります。また受賞後に発覚した場合は、主催者は、受賞の取り消し及び、副賞等の返却請求ができるものとします。

作品の使用及び著作権について

●応募作品は、オリジナル作品であることを条件とし、第三者の著作権、肖像権、商標権、及び個人のプライバシーを一切侵害せず、公序良俗に反しない作品にしてください。●応募作品の著作権及び知的財産権は応募者本人に帰属しますが、主催者判断にてwebサイトや広報誌などでの公開、イベントでの展示に無償で使用することができるものとします。掲載・展示方法などにつきましては、作者との協議の上決定いたします。

主催：一般社団法人ナレッジキャピタル
後援：大阪府 / 大阪市 / 大阪府教育委員会 / 京都府教育委員会 / 奈良県教育委員会 / 三重県教育委員会 / 和歌山県教育委員会 / 兵庫県教育委員会 / 滋賀県教育委員会 / 大阪市教育委員会 / 京都市教育委員会 / 茨木市教育委員会 / 大阪私立中学校高等学校連合会 / 奈良県私立中学高等学校連合会 / 兵庫県私立中学高等学校連合会 / 京都府私立中学高等学校連合会 / 三重県私学協会 / 滋賀県私立中学高等学校連合会 / 和歌山県私立中学高等学校協会 / 一般財団法人大阪教育文化振興財団 / 大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会

ナレッジイノベーションアワード事務局
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル7階 K708
株式会社スーパーフェスティバル内(担当:松田)

☎ 06-6131-6881 (平日10:00~18:00)
✉ kia@kc-i.jp

※選考状況に関するお問い合わせはご遠慮ください。



第9回 ナレッジイノベーションアワード 高校生アイデア部門

未来の仕事 “私の”を考える



あなたが考える
“未来の仕事”が
世界を動かす!

応募締切

2022

1月13日[木]

アイデア募集中!!

KNOWLEDGE CAPITAL
ナレッジキャピタル



KEEP DISTANCE

ナレッジキャピタル



<https://kc-i.jp/award/innovation/>



テーマ

未来の“私の” 仕事を考える

※ 全てご記入ください。

ふりがな お名前	学校名	学年	年(歳)
もしグランプリをとったら 何が欲しいですか？			
■電話番号：自宅 or 携帯(本人) or 携帯(保護者)		■メールアドレス	
連絡先	—	—	—

裏面の応募規定、作品の使用及び著作権について、プライバシーポリシーの内容について確認、同意いただいた方はチェックをお願いいたします。 全てに同意する
※ご応募に関していただきました個人情報につきましては法令その他の規範を遵守いたします。プライバシーポリシーについてはこちらをご覧ください。 <https://kc-i.jp/about/privacy/>

- まだはっきりとはしていないが、やりたい仕事がある。
- 自分の好きなことや得意なことを仕事にしたいと考えている。
- 新しい仕事や働き方を追及してみたい。

そんなあなたにぜひ取り組んでほしいと思っています。

上位3名には、未来を応援する「ほしいものチケット」をプレゼントします。
ぜひ、この機会にあなたの自由な想像力を発揮してみてください！



“私の”新しい仕事をつくりだそう

HOP、STEPで考えた内容をもとに、あなたが未来のトップランナーになることをイメージして、その時、具体的にどんな仕事をしているのか、アイデアをふくらませて書いてみましょう。(表現は、文章、イラスト、図、表など自由です。)

※トップランナー：ある分野の第一線で活躍する人/これまで誰もやったことのないような、新しいことにチャレンジして、未来を切り拓いていく人

発想のヒント ▶ これからは新しい仕事をつくりだす時代だと言われています。すでに世の中にある仕事だとしても、20年後は飛躍的に進化しているかもしれません。あなたの好きなことや興味があることを仕事と組み合わせると新たな仕事の世界に生まれるかもしれません。HOP、STEPの考えも活かしながら、あなた自身の仕事を創造してみましょう。

★ あなたが想像した未来の仕事に
名前をつけてください(仕事名・職業名など)



「わたし」と「仕事」について考えてみよう

発想のヒント ▶ 世の中にはたくさんの仕事があります。インターネットや図書館、本屋であなたの好きな「コト・モノ」+仕事をキーワードに検索、調査してみましょう。
▶ 「お助けシート 好きを追求したら…」が参考になるかもしれません。

今、あなたが好きなこと、興味があることを仕事にするなら、
どのような仕事ですか？

仕事の名前・仕事の説明

次に、あなたの20年後をリアルに想像してみてください。

20年後にあなたが就いているだろうと思う仕事はどのような仕事ですか？

仕事の名前・仕事の説明



「現在」と「20年後」を考えてみよう

HOPで書いた仕事のうち、より深く考えたいと思う仕事を1つ選んで、その仕事が「現在」から「20年後」へどのように変化しているか想像して書いてみてください。

発想のヒント ▶ その仕事は、社会の中でどのような役割を持つのか？なぜ存在するのかについても考えながら、書いてみてください。また、20年後について考えるときは、本やインターネット上で公開されている「統計」が重要な手がかりになります。あなたの想像と、データを組み合わせ未来を推測してみましょう。



新しい仕事を伝えてみよう

伝えた相手 ▼

※例：友達、親、先生など

あなたが考えた未来の仕事について、なぜその仕事ができるのか、その背景を含めて身近な人に伝えてみてください。そして、その人の感想や意見など、聞き取った内容をまとめてみましょう。※感想の内容そのものは、選考に影響しません。



お助けシート

新しい仕事をしている多方面の
トップランナーからのメッセージです。
これらのメッセージには、
未来の仕事を考えるためのヒントが
沢山つまっています。
あなたの想像力を発揮して、
20年後の仕事を描いてみましょう。

お仕事の分野 ▶ 書くこと × アート

一色 さゆり さん 小説家

美術館で学芸員として働いていましたが、ミステリーの賞を受賞して小説家になり、今は主にアートにまつわる小説を書いています。

高校時代、つらかった受験勉強の逃避として、美術に心惹かれるようになりました。高校では学業にせよスポーツにせよ順位をつけられ、一方的に正解を提示されると感じていたけれど、美術の世界では自分が「いい!」と思えばそれが正解になる。そんな自由で未知なる世界に憧れ、美術予備校に通いはじめました。でも自分の絵を描くこと以上に、美術館で名作や現代アートを論理的に言葉にすることの方が楽しかった。そこで大学では美術史を専攻し、インプットしたことをアウトプットするために小説を書きはじめました。すぐには形にならなかったものの、密かに執筆をつづける傍らで卒業後は画廊や美術館で働いたところ、その経験を題材にしたミステリーで小説家になりました。「好きなこと」だけをつづけることは難しいですが、「やるべきこと」がいつしか「好きなこと」に変わる場合は多々あります。何事も糧になるので、同時進行で挑戦することをオススメします。

お仕事の分野 ▶ 恐竜 × サイエンス

小林 快次 さん 北海道大学 総合博物館 副館長・教授

恐竜の進化や生態について研究。アラスカやモンゴル、カナダなど海外で恐竜化石を発掘している。

よく大人は「好きなことを見つけなさい」と言います。実はこれが大変です。どうすればいいのか?まず、身の回りにたくさん落ちている些細な「興味」から始めてください。周りの大人や友達に流されないうで、この些細な興味に耳を傾けると、自然に「好き」がたくさん増えます。さて、ここまでくれば簡単です。「好きであること」が、大きな原動力となり、夢に向かって一步を踏み出すことができます。そして、夢に向かって歩き続けるコツは、「好きであり続けること」です。どんな不安に襲われても、好きであることで怖いものは無くなります。嫌いな勉強ですら楽しく思えます。私が学生の時は、日本人の恐竜研究者はいなく、恐竜研究者になるための道筋はありませんでした。そのような中で、勉強嫌いな私が、好きなことを続けていたら、知らないうちに世界を飛び回る恐竜研究者になっていたのです。無理に好きなものを見つけるのではなく、些細な「興味」から始めましょう。

お仕事の分野 ▶ 法律 × AI

小松 詩織 さん 最高裁判所司法研修所第74期司法修習生

日中友好青年大使への就任や孫正義育英財団に合格など多方面で活動しながら、司法試験に一発合格。特技は空中ブランコ。

「世界的に活躍する弁護士になりたい!」これは私の幼稚園の頃からの夢です。空中ブランコを通じて幼い頃からグローバルな交流をしてきた私にとって、活躍の舞台は世界を見据えていました。大学時代は国際的な活動や興味があったAI分野にチャレンジしました。中国、韓国、ミャンマー、フランス、ドイツ、イギリス、スイス、アメリカに行って勉強をしたり、AI企業でインターンをしたりました。これらの活動と並行しながら、法律の勉強も頑張りました。法律の勉強を理由にチャレンジを諦めるといことはしたくなかったので、なるべく効率的な勉強法を追求しました。そのおかげで、大学在学中に司法試験予備試験に合格、その翌年司法試験に一発合格できました。

お仕事の分野 ▶ インターネット × つながり

中嶋 道太郎 さん イベントプロデューサー

インターネットの会社で、社内・社外に向けたいろいろなイベントを開催しています。



私が父親のパソコンで初めてインターネットに触れたのは中学生の頃でした。当時はまだ画像を1枚表示するのに何秒もかかる時代でしたが、それでも世界中の情報が自分の家でいつでも見られるインターネットは「ドラえもんの世界」のように感じました。知りたいことがすぐ分かり、欲しいものがすぐ手に入る。そして、普通に生きていたら絶対に会えなかったような人々と簡単に知り合える。その体験に魅了された私は、インターネットの会社にデザイナーとして入社し、現在はイベントを開催する仕事を担当しています。イベントではいろいろな人が、いろいろなテーマについて話をするので、インターネットと同じように「人と情報のつながり」が生まれています。私がインターネットと出会ってから25年が経ちますが、この体験の素晴らしさはまったく変わっていません。皆さんが普段何気なく使っているインターネットも「つながり」を意識してみると、より素敵な体験になるかもしれません。

お仕事の分野 ▶ アート × 発明

福原 志保 さん アーティスト・研究者

2014年より、日常で身にまとうものに知能を与えるための技術の開発に従事している。



やりたいことをやりやすくする環境を作るためのショートカットはありません。その環境をつくるための要素は、自分が安心してやりたいことをやれるか、だと思えます。人によって安心できる環境は違うので、自分で手探りで作っていくしかありません。ひとつ確実に言えることは、とにかく時間がかかるので、行動に移すスタートは早い方がいいのは確かです。そして、一人で出来ることは限られているから、仲間探しは絶対に必要になります。そもそも好きなことが何か自分でも分からない時があるかもしれません。そういう時は、つい自分がこたわってしまうものや、捨てられないもの、何か心に引っかかっているものに目を向けて、何故気持ち動いているのか自分自身を発見することから始めてみてはどうでしょうか。その上で、もし短所を含めた、あるがままの自分を受け入れることができれば、他者からの横やりにも動じることもなく、自分の好きなことに突き進む勇気も持てるのではないかと思います。

お仕事の分野 ▶ サバ × サバ博士

右田 孝宣 さん 代表取締役社長 / サバ博士

さば寿司専門店「鯖や」、さば料理専門店「SABAR」、さばの海面養殖などを手掛ける「フィッシュ・バイオテック」を経営しています。



創業のきっかけは、妻の一言からはじまりました。「あなたの作る料理で唯一美味しいのが鯖寿司やから!鯖寿司一本で頑張ってみたら!!」と妻の突拍子もない一言がきっかけで、私のサバ人生、サバ博士のチャレンジがはじまったのです!創業時、妻と2つの約束をしました。1. サバ一本でどこまでビジネスが大きくなるかチャレンジしよう! 2. 面白くなかったらやめようね! この約束があったので、サバ以外の物に浮気もせず、常に楽しいことを追い続けることができ、サバに感謝しています。スタートアップの登竜門である[スタートアップ・カタバロ]でグランプリを頂いた時の私のコメントを一部紹介します。「グランプリの感動をまず、サバに伝えたいです。このような素晴らしい場所に連れて来て頂き、そしてこのような素晴らしい体験ができたこと、本当に感謝しています。これからもっと素晴らしい場所に一緒に行きましょう!」私は、「好きを仕事に」を意識するのではなく、自然とそうになっている!と感じています。だから、そんな仕事と皆さんも出会えるはずですよ。信じてください。

お仕事の分野 ▶ 宇宙 × エンジニアリング

山崎 直子 さん 宇宙飛行士

技術職から宇宙飛行士になり、現在は内閣府宇宙政策委員会委員、一般社団法人スペースポータージャパン代表理事などを務める。



小学生の時に、星を観ることが好きになり、プラネタリウムに通ったり、宇宙の本を読んだりしていました。中学生の時に、初代の日本人宇宙飛行士三名が選抜されたニュースに刺激を受け、宇宙開発に携わりたい、そして宇宙にも行ってみたい、と思うようになりました。高校生の時は文系か理系か迷いましたが、やはり宇宙開発に携わりたいという思いから理系を選択し、エンジニアになりました。宇宙飛行士の試験は、一度目は実務経験が足りなかったから書類審査で不合格。その後二度目の挑戦で宇宙飛行士候補者になりました。実務経験三年以上という条件が応募資格にあるのです(今後は変更されるかもしれません)。従って、いきなり宇宙飛行士になる人はいなくて、皆さん、他の仕事を三年以上は行い、自分の軸を持ってから宇宙飛行士になるのです。まさに宇宙と好きな分野の掛け合わせです。是非、自分の好きな分野を見つけていき、それを大切に温めていって下さい。いつかきっと、それらが繋がってくることでしょ。